

02.デルフィ遺跡



デルフィ遺跡はアテネから西へ約 180km のパルナッソス山に囲まれたところに位置している。

かつてその存在を知らずに遺跡の上に存在していた街は、発掘のため移設され今のデルフィ市街となっている。

遺跡の中心となるアポロン神殿をはじめ、参道には奉納品・宝庫が並び神からの神託を受けるため、当時の荘厳な姿を想像させる圧倒的なスケール感の遺跡群が広がっている。

アゴラから始まる動線計画は、軸となる求心性というものが存在せず、様々な視点移動とともに、複雑に絡み合い演出し、それらをパルナッソス山の荘厳なスケール感が包み込んでいる。地形的な高揚感、神の信仰に対する期待感を感じながら、当時の様子や人々の日常を想像できる素晴らしい場所であった。それら発掘品に関しては併設するデルフィ考古物博物館で見ることができる。

世界の中心と考えられていた当時の姿は遺跡となった今でもその存在感は普遍的である。

(小柳 実)